

# 自立活動だより

令和4年3月18日（金）

福島県立聴覚支援学校会津校自立活動係  
第4号

卒業、修了を迎え、子どもたち一人一人が自信に満ちた表情で生活しています。毎日の補聴器や人工内耳の点検や体育の後のお手入れなど、1年前よりも上手になっているのを感じます。また、自立活動のクイズを通して、季節の言葉に触れ、手話表現を覚えたり、指文字がスムーズに構成できるようになったりしています。覚えた手話や指文字を使って、コミュニケーションの幅が広がり、子どもたち同士のやりとりが増えているので、今後も継続していきたいと思います。ご家庭でも「今日のクイズは何だったの?」と話題にしていれば幸いです。



会津校で取り組んでいる聴覚補償、情報保障についてご紹介します。

## その1 発表活動

始業式や終業式には、その学期の思い出や休み中に頑張ったことなどを発表する活動を行っています。また、児童集会では、総合的な学習の時間などの成果を発表しています。補聴援助システムを使用して、聞こえを補償しながら、できるだけ手話や指文字も用いるように練習して発表に臨んでいます。また、見てわかる工夫として、実態に応じて、プレゼンテーションソフトを使ったり、お話の短冊を見せたりしています。



↑プレゼンテーションソフトで写真を提示  
タッチスクリーンとデジマスターを使用



↑マイクを使って話し、内容を文字で提示  
パスアラウンドマイクを使用



↑内容を短冊に書いて提示  
マイリンクを使用

## その2 補聴援助システムの活用場面

送信機として、ロッジャーのタッチスクリーン、セレクト、パスアラウンドマイクを、受信機としてマイリンクを整備しました。また、線音源スピーカーのデジマスターもそろえ、音響環境を整えています。集会活動や雑音の多い交流活動、タッチスクリーン校外学習などで使用することで、周囲の雑音を抑え、話す人の声を、直接補聴器や人工内耳に届けることができます。

また、英語のリスニング学習で、CDデッキにつなげることで、一段と聞きやすくなります。日頃の授業で使用することで、高校入試等での合理的配慮としても認められます。

補聴援助システムのマイリンクは、多くの補聴器や人工内耳に対応していますが、Tコイルを使用するため、専用のプログラムを設定する必要があります。プログラムは、耳鼻科の主治医の指示の基、言語聴覚士や補聴器の業者さんに設定してもらうこととなります。まだ設定していない場合、医療機関受診時に主治医の先生に補聴援助システムの使用について、ご相談ください。



セレクト

デジマスター→



マイリンク→

